

# 新型コロナ 緊張感維持、予防徹底を 年末年始で竹井会長（地区 医師会）



竹井太会長

これからの年末年始には多くの観光客や帰省客

が来島し、人の往来が激しくなる。期間中の過ごし方について、宮古地区医師会の竹井太会長は、常に緊張感を維持してこれまで通りの新型コロナウィルス感染予防策の徹底を呼び掛ける。

年末年始の過ごし方や来島する側の注意点については「島内では感染状況も比較的落ち着いていては、ある意味で微妙な時期だとも言える。気持ちの緩みもあるかも知れないが、これまでの努力を無駄にしないための取り組みが必要」と話す。

その上で「年末年始をゆっくり過ごしながら、これまで徹底してきたマスク着用、手指の消毒、3密防止の感染予防の基本を着実に継続してほしい」と呼び掛けた。

また、観光や帰省で来島する人たちに対しても「来島する際にはもちろんワクチンを接種し、Pを押しした。最後に竹井会長は「もちろん、『オトリー』は原則やらないということをお忘れしないでほしい」と念

いが、これまでの努力を無駄にしないための取り組みが必要」と話す。その上で「年末年始をゆっくり過ごしながら、これまで徹底してきたマスク着用、手指の消毒、3密防止の感染予防の基本を着実に継続してほしい」と呼び掛けた。最後に竹井会長は「もちろん、『オトリー』は原則やらないということをお忘れしないでほしい」と念